

## 「開拓者」として前進できる年にしよう

長野県蘇南高等学校長 小川幸司

### 1 2023年の日本社会の大きな課題を見つめる

皆さん、あけましておめでとうございます。

令和5年（2023年）の新年の休み明けに、皆さんと再会できて本当にうれしく思います。どうか本年もよろしく願いいたします。

今日は、これからの2023年はどのような年になるだろうかということ予想して見ましょう。

#### （1）コロナ禍の出口は見えるのか

第一に、新型コロナウイルス感染症の問題についてです。日本政府は3～4月に感染症についての法律を改正する準備に入りました。重い病気（「2類」）として位置付けられているコロナを、インフルエンザと同等の「5類」の病気と見なせるかどうかという検討です。第5類の病気になると、陽性者の出席停止扱いは同じですが、濃厚接触者の特定とかマスク着用の要請などが今とは違ってくるでしょう。検査や治療は有料になります。その根拠になっているのは、今年の夏以降に流行してきたコロナ・オミクロン株の致死率が、どの年齢層においてもインフルエンザの致死率とほぼ同じになってきたという事実があります。

コロナの時代からの出口が少しは展望できるかどうかというところに来ました。でも簡単には喜べません。年末年始の人の移動により、これから第8波の感染爆発がさらに激しくなるはずですが、コロナの感染力は、当初からインフルエンザよりはるかに強く、現在のオミクロン変異株になってさらに強くなっています。一方、これまでゼロコロナ政策をとってきたお隣の国、中国が方針を大きく変えたために、巨大な感染爆発が起こっているという、新たな事態にも直面しています。また新たな変異株が出てくる可能性もあるからです。

ゆえにコロナからの出口が見えつつあるとはいえ、事態の推移を注意深く見守っていきましょう。これからの第8波が厳しい状況になるときであり、3年生にはこれから受験を控えている人が何人もいます。高校入試もひと月後から始まります。現在のコロナ対策を続けていくので、どうか皆さんの協力をお願いします。

#### （2）ウクライナに平和は戻るのか

第二に、ウクライナ戦争についてです。ロシアが当初の目論見のように簡単にはウクライナ征服をできず、東部2州の一部を支配下に組み入れただけになっています。しかし、この年末年始にもロシアからの残酷な爆撃が続けられました。夏に蘇峽祭の地域物産展の売り上げをお送りした、ポーランドのワルシャワ日本人学校の坂本龍太郎さんのウクライナ支援活動は、今も続いています。

特に最近プーチン大統領が重い癌を患っているのではないかという情報が繰り返

し世界をかけめぐっています。昨日もウクライナ国防省の指導者からプーチン重病説が発表されました。これが事実の報道なのか、ロシア国民に不安を与える作戦なのか、戦争の終結を祈りながらも、この世界に飛び交う「情報」の行方についても注意していきましょう。

また、私たちはこの戦争の「日本国内への影響」について真剣に考える段階にあります。つまり、岸田首相が、①国際社会の変化に対応して防衛費の大幅な増額と防衛政策の転換、その財源となる増税をうちだしました。また、②東日本大震災のあとで厳しく抑制してきた原子力発電を積極的に推進していく方向に転換することを発表しています。皆さんは、どうかこうした問題について、賛成派・反対派それぞれの意見をじっくり聞いて、どうすべきなのかの自分の意見をもってください。

## 2 蘇南高校の2023年「年はじめ」

次に私たち蘇南高校が1月に計画していることをお話します。

まず、暮れの全校集会で皆さんに提案した制服改革案ですが、圧倒的多数で「選択肢を拡大化する方向」に賛成が集まりました。他は、女子型スラックスは単色にすべきという意見が多く、女子型ジャケットのボタンをシングルにすべきかダブルにすべきかについては完全に意見が割れました。皆さんの声をもとに、どう制服を改革するかを、近いうちに発表します。

そして、本校の玄関ロビーで岡田政晴先生（元福島中学校長・本校非常勤講師）の絵画展を行うということをお知らせします。秋の終始業式で、本校の先輩・岡田先生が、不自由になった身体を工夫して使いながら描いた絵画作品を私たちに贈呈してくださいました。今回、岡田先生が病に倒れる前に描いていた絵画、病にうちひしがれているなかで描いた絵画、病を乗り越えて新しい描き方を実現した絵画・・・というように、時代順に絵画を並べます。展示に当たっては、美術部の皆さんの協力をいただきます。

是非、皆さんに見てほしいと思います。そして一度は絶望の淵に立たされながらも、「開拓者精神」を忘れずに前を向いて歩んでいる先輩の生き方に、ふれてください。

## 3 学年ごとのメッセージ

最後に、それぞれの学年ごとにメッセージを送ります。

まず、3年生の皆さん。いよいよ高校生活が残り2カ月です。二つお願いをします。

①これから大切な進路の試験を受ける友人が何人もいます。すでに進路先が決まっている人は、どうか仲間が無事に受験して力を発揮できるよう、静かに支えましょう。特にコロナ第8波の影響が最小限になるよう、配慮をお願いします。

②卒業は皆さんが「鳥」となって飛び立つときですが、どうか美しく離陸してください。再来週には卒業をかけた最後の学年末試験があります。最後まで丁寧に学び続けることが、美しい離陸につながります。

なお、卒業式前の登校日に、シンガーソングライターの小田ルイさんとの最後のオンライン対話をセッティングしています。お楽しみに！

次に2年生の皆さん。皆さんの3人に一人の割合で3月初旬からカナダ語学研修に旅立ちます。本校の海外研修は3年ぶりですし、学校単位の短期留学再開としては長野県で先駆的な挑戦です。絶対に成功させましょう。

そして全員が、これから3年次で本格的に学ぶ総合探究のテーマ決めを行います。2年生には「深く学ぼう」ということを呼びかけます。

最後に1年生の皆さん。3カ月後に皆さんは新入生を迎え入れて上級生になります。そのときに新入生たちが慕われるような、魅力的な先輩になってください。そのための要件は、①やらねばならないときにしっかりできる人、②部活動・勉学・何であれ、打ち込めるものを持っている人、・・・だと思います。

「産業社会と人間」の時間では、企業の大人たちへのインタビューを行っていきます。是非、魅力的な大人たちと出会って、自分の生き方を考えていきましょう。

では、2023年の皆さんの幸せを、私たち教職員は全力で応援していきます。皆さんが「開拓者」として前進できる、よい年になりますように！